

### 3. 平成28年度 学校目標

学校目標	取組の内容	
	具体的な手立て	評価の観点
<p>①アクティブラーニング型授業に係る研修を実施し、授業改善の意識強化を図る。</p> <p>③学校行事等の運営について、生徒主導の機会を増やす。</p>	<p>①年間の「授業研究及び研修」計画において設定した講習会等でアクティブラーニング型授業に係る研修を実施する。</p> <p>①各教科において、単元の内容を考慮したうえ、積極的にアクティブラーニングを取り入れる。</p> <p>③自主的な生徒会活動の活性化と充実を図り、積極的な取組を引き出す。</p>	<p>①アクティブラーニング型授業に係る研修を実施することができたか。</p> <p>①生徒による授業評価の項目4において、「4：とても思う」と「3：そう思う」を選んだ生徒が各教科で8割以上となったか。</p> <p>③生徒主導の機会を増やすことができたか。</p>
<p>①生徒一人ひとりの理解を深め、情報の共有化を進め、学年とグループが協働で組織的な支援を行う。</p> <p>②部活動の日ごろの成果を発表する場や活躍の場を増やし、活動を奨励する。</p>	<p>①支援が必要な生徒の状況を各学年で共有し、グループと連携して支援する。必要に応じてSCやSSWを有効に活用する。</p> <p>②部活動に係る活動環境を整備し、部活動への加入率50%以上をめざす。</p>	<p>①授業中や休み時間の生徒の活動状況をよく観察するとともにコミュニケーションを図り、支援が必要な生徒の情報を学年で共有し、外部機関を含めた教育相談体制のもと課題が解決できたか。</p> <p>②より充実した活動が行われたか。加えて部活動の加入率が50%以上を達成できたか。</p>
<p>①適切な勤労観や職業観の育成をめざし、進学・就職ともに進路行事の充実を図り、進路未決定者を少なくする。</p>	<p>①キャリアガイダンスを充実させるために、学年ごとの実施目的を明確にし、プログラム内容の充実を図る。</p>	<p>①キャリアガイダンス実施後の生徒アンケート等で、生徒の満足度が前年度に比べ高かったか。</p>
<p>①地域と連携して実施できる事業について模索し、実現できることから取組を進める。</p>	<p>①「お茶とお花の会」等地域連携事業の広報を徹底する。</p> <p>①小中学校との連携を図り、授業研究を推進する。</p>	<p>①地域連携事業の広報を徹底し、地域との連携が強まったか。</p> <p>①小中学校との連携を図り、授業研究を推進できたか。</p>
<p>②生徒と向き合う時間を確保するため、会議の回数等を調整する。</p> <p>③定期的に事故・不祥事の防止のための意識啓発をし、OJTを含めた職員研修を実施する。</p>	<p>②校内のポータルサイトやメール等の活用や日常の打ち合わせの質を高めるとともに、効果的な会議を進めることにより会議時間の短縮を図り、会議の回数を減らす。</p> <p>③職員打ち合わせ、事故防止研修や管理職による面談を通して、定期的に事故・不祥事防止の意識啓発を図る。</p>	<p>②会議等の時間が減り、生徒と向き合う時間が前年度に比べて多くなったか。</p> <p>③事故・不祥事を防止できたか。</p>
<p>①アクティブラーニング型授業に係る研修を実施し、授業改善の意識強化を図る。</p> <p>③学校行事等の運営について、生徒主導の機会を増やす。</p>	<p>①年間の「授業研究及び研修」計画において設定した講習会等でアクティブラーニング型授業に係る研修を実施する。</p> <p>①各教科において、単元の内容を考慮したうえ、積極的にアクティブラーニングを取り入れる。</p> <p>③自主的な生徒会活動の活性化と充実を図り、積極的な取組を引き出す。</p>	<p>①アクティブラーニング型授業に係る研修を実施することができたか。</p> <p>①生徒による授業評価の項目4において、「4：とても思う」と「3：そう思う」を選んだ生徒が各教科で8割以上となったか。</p> <p>③生徒主導の機会を増やすことができたか。</p>